

2020年度 公募推薦入試終了しました

2020年度の私大公募推薦入試は、一部の大学、日程を除いてほぼ終了しました。11月9日(土)・10日(日)・17日(日)の3日間にわたって公募推薦入試が実施された畿央大学の志願者数は、全体で3.2%の減少となりましたが、学科別にはかなりの変動がありました。年が明ければよいよ一般入試のシーズンで、出願は12月下旬から始まります。学科ごとの公募推薦入試の結果と一般入試の展望(2面)について、大手予備校の方にまとめていただきました。合格をめざして万全の準備でのぞんでください。

超安全志向も志願者は減少

資格や就職に強い学部・学科の人気は全国的に低下傾向のようです。超安全志向と言われて増加予想だった2020年度の公募推薦入試でしたが、この分野に関しては減少か横ばいの大学が目立っています。資格取得や就職に強い畿央大学についても、昨年度減少幅の大きかった学科は増加に転じましたが、反対に増加していた学科は反動で大幅な減少となりました。結果として全体では昨年を少し下回る志願者数となり、5学科の実質倍率はほとんど同じような数字となっています。受験生が隔年現象で増減するのは安全志向の一般的な特徴の一つで、今後の入試でも同じような傾向が考えられそうです。

入試問題の易化で合格最低点上昇

今回の入試では英語の問題が少し易くなりました。特にA日程では他の科目も含めて平均点が高く、結果として合格最低点は大幅に上昇しています。昨年度は一般入試でも英語の出題が他の科目に比べてやや難しい傾向がありましたが、今年は少し易化するかもしれません。一方、B・C日程の合格最低点は例年並みで落ち着いた結果となりました。最も高いのは理学療法学科で、

他の4学科の間の差は年々縮小しています。以下に学科別の分析を行いました。

〔健康科学部理学療法学科〕

医療技術系の受験者は新設学科が増加中のため全国的にみるとやや増加傾向ですが、理学療法にしばれば苦戦が続いています。畿央大学の場合は昨年の増加の反動から、入試前の予想通り大幅な志願者減となっています。理学療法分野の草分け的存在として人気の高い大学ですが、強い安全志向から敬遠されたと思われる。合格者数も増加したため倍率は大幅に下がりましたが、それでも他大学に比べて高めといえます。5学科の中では相変わらず最難関と言えそうです。

〔健康科学部看護医療学科〕

看護系の人気は全国的に根強く、大学の新增設が続いてもそれほど易しくはなっていないようです。畿央大学もほぼ昨年並みの志願者数となりました。一方、同じようなレベルの競合校が増えることで入学手続き率も下がるため合格者数も増加し、3日程×3方式の合計の倍率はややダウンしています。合格最低点でみると理学療

法学科に次ぎ難関となっていますが、毎年少しずつ易くなる傾向と言えます。

〔健康科学部健康栄養学科〕

管理栄養士系の学科は元々女子大に集中しているため、近年の女子大全体の不人気傾向のあおりで志願者減少が続いてきました。さらに今年は近畿地区で摂南大の新設と武庫川女子大の改組(定員増)があったため、既設大学の多くは影響を受けているようです。畿央大学は昨年の公募推薦が難関だったことも影響して、実受験者数では25%の大幅な減少となりました。共学を含む管理栄養士課程が増えてきていることも理由と考えられます。倍率も大きく下がって明らかに易化しています。問題が少し易くなっているのでもあまり目立ちませんが、合格最低点も昨年に比べると相対的に下がりました。

〔健康科学部人間環境デザイン学科〕

好景気が続いていることや2020東京オリンピック開催の影響もあって、全国的な建築系人気は継続中のようです。畿央大学の人間環境デザイン学科は生活科学系学科のイメージですが、建築士一級の受験資格取得を可能とするため、この数年建築士希望者の人気上昇しています。今年は志願者の増加に対して合格者数がそれを上回る増加で、倍率はダウンしました。ただし上位層は近年確実に増えているようで、合格最低点は相対的に上昇しています。実質倍率、合格最低点ともに他の学科とほとんど同じレベルとなっています。

〔教育学部現代教育学科〕

教員養成系学部や学科の新設、改組については、以前ほどではありませんが、いまだに継続中です。一方で全体の受験者数は横ばいという状況で、個々の大学では志願者は減少傾向となっています。

畿央大学では、昨年まで続いた大幅な減少の反動から、久しぶりに志願者が増加しました。ただし、昨年は前年比15%前後の減少で、2年間では3割の大幅な減少となっていたので、大きく難化するところまでは回復していません。合格最低点も医療系3学科に比べて少し低くなっています。レベル的にけって低い倍率と言える数字ではありませんが、3年前程に比べると明らかに受かりやすくなっていると思われる。

2020年度畿央大学公募推薦入試結果 (A方式のみ)

学部	学 科	募集人員	日程	志願者数			受験者数(a)		合格者数(b)		倍率(a/b)		合格最低点
				2020	2019	差	2020	2019	2020	2019	2020	2019	
健康科	理学療法	35	A日程	125	159	-34	125	158	19	13	6.6	12.2	205
			B日程	108	128	-20	108	127	17	11	6.4	11.5	200
			C日程	91	128	-37	91	126	15	10	6.1	12.6	198
			合 計	324	415	78.1%	324	411	51	34	6.4	12.1	-
	看護医療	43	A日程	222	195	27	220	195	37	36	5.9	5.4	199
			B日程	169	170	-1	169	170	33	33	5.1	5.2	193
			C日程	150	162	-12	148	159	25	24	5.9	6.6	192
			合 計	541	527	102.7%	537	524	95	93	5.7	5.6	-
	健康栄養	42	A日程	167	197	-30	167	196	30	21	5.6	9.3	196
			B日程	144	179	-35	144	179	19	22	7.6	8.1	192
			C日程	125	164	-39	122	164	25	12	4.9	13.7	179
			合 計	436	540	80.7%	433	539	74	55	5.9	9.8	-
人間環境デザイン	27	A日程	120	94	26	119	93	17	12	7.0	7.8	191	
		B日程	86	76	10	85	76	13	8	6.5	9.5	188	
		C日程	76	68	8	75	68	8	8	9.4	8.5	174	
		合 計	282	238	118.5%	279	237	38	28	7.3	8.5	-	
教育	現代教育	85	A日程	302	244	58	301	244	59	46	5.1	5.3	195
			B日程	225	199	26	224	199	31	41	7.2	4.9	189
			C日程	191	178	13	189	177	32	32	5.9	5.5	186
			合 計	718	621	115.6%	714	620	122	119	5.9	5.2	-
計	232	2301	2341	98.3%	2287	2331	380	329	6.0	7.1	-		

(注1)合格最低点は250点満点 (A方式)

2020年度 一般入試予想 ～畿央大学は狙い目となるか？～

年があけると一般入試の季節です。最後の実施となる大学入試センター試験や私立大学一般入試、国公立大学2次試験も始まり、2020年入試の本番をむかえます。畿央大学の10月までの模擬試験の動向やオープンキャンパスの参加者数、公募推薦入試の受験者数をつき合わせてみると、増加傾向と言えるのは人間環境デザイン学科と現代教育学科で、残りの3学科については減少傾向が昨年並みといえるでしょう。中でも理学療法学科と健康栄養学科は大幅な減少傾向を示しています。さらに一般入試からは他大学の開設学部や学科の募集も本格的に始まるため、その影響も考慮する必要があります。近畿地区の新設大学の状況なども含めて、今後の入試を予想してみました。

健康科学部理学療法学科

医療技術系の人気はどちらかと言えば下降気味のところへ、臨床検査、臨床工学、診療放射線など新たな分野の新設が急増しているため、多くの既設大学では志願者が減少傾向です。

畿央大学の公募推薦入試では前年度の増加に対する反動もあって、20%以上の大幅な減少となりました。オープンキャンパスなどの参加状況等で入試前から減少が予想されていましたが、予想以上の結果でした。直近の模擬試験の動向だけ見れば一般入試では公募推薦入試ほどの減少にはならないかもしれませんが、安全志向が強くと引き続き大きく減少する可能性は十分あり

ます。ただし理学療法分野で国公立大学受験者の併願先として人気は根強く、合格者数が絞られると例年並みのレベルを維持することが考えられます。

健康科学部看護医療学科

看護系の志願者自体はいまだに増加傾向にあるのですが、設置する大学が激増し受験生が分散する傾向にあります。今年の近畿地区では新設こそないものの、定員増を行う大学が多く、影響を受ける大学が出そうです。また、安全志向の強い2020年度入試で難関大学の志願者の減少が起きると、入学手続き率等で看護系全体に影響がおよぶため、大きく易化する大学が出るかもしれません。

畿央大学の公募推薦入試はほぼ昨年と同数、同レベルとなりましたが、直近の模擬試験の動向では一般入試以降、減少傾向とみるのが妥当です。少し易しくすると予想します。

健康科学部健康栄養学科

管理栄養士系の人気も近年下降気味です。就職に強いイメージで、不況時には女子大人気とあわせて志願者が増えますが、逆に好景気になる減少に向かう傾向があります。

畿央大学は共学なので昨年の公募推薦入試ではむしろ志願者が増加しましたが、今年は摂南大の新設の影響が大きく、20%の大幅な減少となりました。模試の動向でも激減傾向が継続中で、

一般入試でも引き続き志願者が大幅に減少する予想です。畿央大に限らず、近畿大や龍谷大、神戸学院大など、共学の大学を中心に同様の可能性があり、女子大を含めて、今年の栄養系は大きく易化する可能性があります。

健康科学部人間環境デザイン学科

比較的好調な経済と就職事情を背景に、建築系学科には受験生が集まる傾向です。本学科は工学部以外で一級建築士の受験資格が取得できる上に、文系科目中心に受験可能なことから人気化しています。近年の難化でやや敬遠傾向がみられたものの、安全志向による受験の早期化で、公募推薦入試は大きく志願者を増やしました。

一般入試でも大幅な減少はなさそうですが、公募推薦入試の結果から警戒感は強く、引き続き大きく増加するとは考えにくいと、前年並みの志願者数と予想します。いずれにしても定員が少ないため、受験生のわずかな動きで難易度は大きく変わります。一般前期～後期のどの日程がチャンスとなるかは状況によりますが、あきらめずチャレンジしてください。

教育学部現代教育学科

好調な大卒就職事情を背景に、資格志向の後退は顕著です。文系人気の学部・学科の中にあつて教員養成系は人気圏外と言えます。今後、教員採用数が減少するという予想も、さらに志願者離れを加速させる要因です。

畿央大学では教員採用試験等の高い実績にもかかわらず昨年末で志願者の減少傾向が続いていましたが、今年度の公募推薦入試では昨年末までの反動と英語教育コースの新設で久しぶりに10%以上の増加となりました。直近の模試の結果でも増加基調となっていることから、一般入試でも同程度の増加の可能性が高いと言えます。ただし最近数年間の減少率は大きく、一気にレベルの回復というところまではいたっていません。さらに国立大教育学部との併願者も多く、合格者の入学手続き率予想が難しいために、国立大の状況によっては後期日程でも多くの合格者が出ることもあります。

畿央大学2020年入試の主な動向

項目	学科	理学療法	看護医療	健康栄養	人間環境デザイン	現代教育	全体
2020年度一般入試 主な変更点		前期日程で「3科目型T方式」・中期日程で「PC①方式」が増(全学部・学科)					
オープンキャンパス 参加者前年比(3年生)		97%	103%	101%	114%	112%	105%
公募推薦入試志願者 (3A方式前年比)		78%	102%	80%	118%	115%	98%
9月マーク模試志望 (一般前期のみ)		96%	93%	80%	121%	120%	101%
近畿地区他大学の 新・増設学部情報	宝塚医療大 (和歌山保健医療 他専門職大学)		摂南大(農・食品) 武庫川女子大 (食物栄養科学)	武庫川女子大 (建築)	京都文教大 (こども教育)		

2020年度一般入試のポイント

1 前期日程に「3科目型T方式」を導入

前期日程では試験3科目の得点+調査書(評定平均値×10)で合否を判定する「3科目型T方式」を導入。高校の成績がいかせます。

2 前期A・B・C日程は複数日程受験で検定料割引

前期日程はA・B・Cの3日間。日程毎の合否判定で、受験した日数だけチャンスが拡大。複数日受験すると検定料の割引制度もあります。

3 1回の受験で2学科出願&複数の合否判定が可能

1回分の検定料で最大2学科の合否判定が可能です。また、1回の試験で日程により3～6種類の合否判定方式が受けられます(2方式目から+1万円で、4方式以上は同額)。

4 2種類の奨学金+修学支援新制度

一般入試前期、センター試験利用入試前期は、各学科の合格者のうち上位10～20%を対象にした奨学金の選考試験を兼ねています。また国の就学支援新制度の対象校となっています。

5 中期日程の判定方式が充実

本学独自試験とセンター試験の両方の得点をいかに「PC方式」に、科目数の組合せが異なる方式を追加します。

PC①方式
個別試験(2科目)+センター試験(1科目)
PC②方式
個別試験(1科目)+センター試験(2教科2科目)

6 一般入試+センター試験利用入試で検定料免除

センター試験利用入試は前期・中期・後期とチャンスは3回ですが、同じ日程の一般入試と同時に受験すると検定料を3方式分まで免除します。2～4科目の中から入試方式を選び、得意科目をいかせます。

7 入学金が安いので手続時の負担が軽い!

入学金が15万円と比較的低額におさえられているので、合格後の負担が軽く、国立大学等の他大学の併願先としても受験しやすくなっています。また、入学手続完了後に入学辞退になった場合でも、期日までに所定の手続きをすれば入学申込金を除いた納付金を返還します。

2020年度入試問題傾向と対策 理科・地歴・論文総合編

多くの大学で公募推薦入試が終了し、次はいよいよ一般入試の季節となります。一般入試特集号では公募推薦入試特集号に続いて入試問題の傾向と対策を、理科・地歴の2教科6科目と「論文総合」についてお届けします。

2020年度公募推薦入試の英・数・国3教科については、大きな変更はありませんでした。一般入試についても同様に昨年度を踏襲した内容と思われます。ただし出題範囲でありながら昨年出していない分野については注意が必要です。自分が選択する科目については出題される全範囲について、しっかりと整理しておきましょう。理科や地歴は高得点のチャンスです。傾向をおさえて得点源にしてください。

■理科の出題について

「物理」・「化学」・「生物」の各科目についてはそれぞれ「物理基礎・物理」・「化学基礎・化学」・「生物基礎・生物」が出題範囲となります。また、「基礎理科」とは「基礎」を付した科目だけを2科目組み合わせた科目のことで、「物理基礎・化学基礎」・「物理基礎・生物基礎」・「化学基礎・生物基礎」という組み合わせで受験が可能です。つまり理科を選択する人は上記の6パターンから1つ選んで受験します。理科から2科目選択することはできません。また、物理・化学・生物については出題範囲が指定されています。詳しくは2020年度学生募集要項で確認しておいてください。

■「物理」と「基礎理科(物理基礎)」

記号選択式で大問は4問、小問数は25問程度というのが一般的ですが、1と2は「物理基礎」、3と4は「物理」からの出題となります。「基礎理科」を選択する受験生は、1と2のみを解答することになります。1は「物理基礎」全般からの小問集合で、2は同じく「物理基礎」の「運動とエネルギー」などを中心にしたテーマ問題、3と4は「物理」からの出題で、『原子』を除く各分野から偏りなく出題される予定です。

各大問の前半は標準的な設問となっていて、後半も難問・奇問というわけではないので、基本事項を確実に理解しておけば十分に対応できるでしょう。苦手分野をつくらないことがポイントです。

■「化学」と「基礎理科(化学基礎)」

記号選択式で大問は4問、小問数は25問程度というのが一般的で、1と2は「化学基礎」、3と4は「化学」からの出題となります。他の科目と同じく「基礎理科」を選択する受験生は、1と2のみを解答することになります。1は「化学基礎」全般からの小問集合で、2は理論化学分野(化学基礎)のテーマ問題、3と4は「化学」からの出題で、『高分子化合物の性質と利用』を除く各分野から偏りなく出題されることが予想されます。

無機、有機の各分野からほぼ同量の出題となる予定ですが、単に知識だけではなく、計算力、応用力を試される問題が出題されます。基礎力を身につけたあとは、多くの問題演習をこなして応用力、得点力をきたえておくことが、合否の分かれ目となるでしょう。テーマ問題にはやや難しい設問を含んだものもありますが、前半は基礎的で後半はやや発展的な内容が出題される可能性が高いでしょう。

■「生物」と「基礎理科(生物基礎)」

記号選択式で大問は4問、小問数は32~33問程度というのが一般的で、他科目と同じく1と2は「生物基礎」、3と4は「生物」からの出題となります。したがって、「基礎理科」を選択する受験生は1と2のみを解答することになります。1は「生物基礎」全般からの小問集合で、2は同じく「生物基礎」のテーマ問題、3と4は「生物」からの出題で、『生殖と発生』『生物の環境応答』などを中心に出題される予定です。

出題の形式はさまざまで、特に文章選択が目立つのが生物の特徴です。大問ごとに易しいものから難しいものまで出題されていますが、多くは教科書の知識から単純に正解が得られる基礎的な問題です。一方で、組合せ選択や文章選択、図や表を用いた問題などは、正確な知識とともに深い理解が必要となります。また実験観察問題も出題されるので、センター試験の問題集なども使って、データを分析する力、考察する力もきたえておくとういでしょう。

■「日本史」

4大問構成で36小問となっており、ほとんどが4択の選択形式です。リード文中の空欄を補充する空欄補充組み合わせ問題、年代整序問題、事柄と人物の組合せ問題、語句選択問題が主で、文章選択問題や文正誤判定組合せ問題も出題されています。語句選択問題の多くは、正解の語句も誤りの語句もほとんど教科書に掲載されていると思って良いでしょう。逆に、文正誤判定組合せ問題等では、正確で幅の広い知識を必要とする出題となっています。単に年代や語句を暗記するだけでなく、同時期の政治や経済、文化などに幅を広げて知識を深めていきましょう。

古代から近現代まで幅広く出題されていますが、第1問には通史的なテーマ問題が多く、第2問は古代・中世、第3問は近世、第4問は近現代の順で、センター試験の出題順と似ています。時代分野もバランスよく出題されていますし、また政治・外交・社会経済・文化の4分野のすべてが出題されています。基本的な語句選択問題でケアレスミスをしなないことが大切です。頻出の資料問題も教科書や一般的な資料集レベルなので、資料中のキーワードからその資料が何かを想起できるようにしておきましょう。

■「世界史」

4大問構成で40小問程度となっており、出題形式では語句選択、文章選択に加え、2・3文正誤の判定、並び替え、組み合わせなど、さまざまな形式で出題されています。時代は、古代~現代まで幅広い時代の出題となっています。また分野としては、政治史中心の出題が特徴ですが、文化史や社会経済史からの出題も考えられます。地域は、ヨーロッパ・中国を中心とした出題ですが、南アジア・東南アジア・西アジアをテーマとして扱った大問もみられます。

語句選択を中心とした形式が多いのは日本史と同じで、内容も基本事項を問うているので、多くは教科書を中心とした学習で十分対応できます。しかし、文章選択問題や地理的認識を問う問題など、応用力を試される問題の出題も少なからず見受けられます。時代の流れをおさえるには古代、中世といった時代の枠にとらわれず、地域や国の各時代をつないで通史としてとらえることが大切です。図表や年表をうまく活用して、横のつながりを意識した学習をこころがけてください。

文・理を問わず受験できる『論文総合』(一般入試後期日程)



一般入試後期日程の選択科目「論文総合」は500ワード程度の英文資料を読み、①英文内容の要約問題 ②英文のテーマに沿った論述問題(600字程度)等に解答するもので、本学の一般入試では唯一記述式の試験となります。設問は日本語で示され、解答も日本語による解答になります。英文のテーマによって多少異なりますが、文系、理系を問わず対応可能な科目でしょう。下記は昨年の問題です(一部)。

〈一般入試後期日程「論文総合」の問題イメージ〉

- 問題 e-learningの普及について書かれた次の文章を読んで、あとの問い(問1・問2)に日本語で答えなさい。
E-learning is changing the way that the world learns. Language courses and even university lectures are widely available on the Internet.・・・(400~600word程度)
- 問1 この文章に書かれている主な内容を、200字以内で要約しなさい。
- 問2 この文章に対するあなたの意見を、600字以内で書きなさい。

※2019年度に出題された問題です。全く同じ形式とは限りません。



事前申込不要
入退場自由

オープンキャンパス & 一般入試対策講座

12/15(日) 13:00~17:00
受付 12:30~

一般入試対策講座

駿台予備学校の講師が過去問題から出題傾向を分析し、一般入試の攻略方法について解説!!畿央大学の一般入試は日程により入試科目が異なりますが、今回は英語・数学・国語の3教科の講座を開催します。試験のポイントを押さえて、合格を勝ち取ろう!!(定員300名)

高校1・2年生向け

入試担当者による入試ガイダンスや分野別学科ガイダンス、個別相談、キャンパスツアー、畿央生とのフリートークなども実施。気になる2021年度入試も先取りします。今までオープンキャンパスに来られなかった方、保護者の方もぜひお越しください。

タイムテーブル(予定)	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
一般入試対策講座「国語」	13:00~14:00				
一般入試対策講座「英語」		14:20~15:20			
一般入試対策講座「数学」				15:40~16:40	
受験生向けミニ入試ガイダンス ※3回とも同じ内容です。		14:20~14:50		15:40~16:10	16:40~17:10
分野別学科ガイダンス [医療・栄養分野] [デザイン・教育分野]	13:00~13:45				
高校1・2年生向け入試ガイダンス		13:55~14:40			
個別相談コーナー	13:00~17:00				
畿央生とめぐるキャンパスツアー	13:50~14:10	14:55~15:15	15:25~15:45	16:15~16:35	
畿央生とのフリートーク	13:45~17:00				

11:00~ キャンパスランチ体験

(有料/ラストオーダー12:30)



受付で、SARASA& 畿央大学オリジナル合格(5角)鉛筆をプレゼント!



アンケート回答で、2020年版赤本 or 大学オリジナルグッズを贈呈!

(赤本は数に限りがあります)



サタデーミニキャンパス

12/14±21± 13:30~ 要事前申込み

通常のオープンキャンパスよりも小規模ですが、個別にじっくりご相談いただけます。保護者のみなさまもぜひご来場ください。



タイムテーブル

- 13:00 受付開始
- 13:30~14:15 大学紹介&入試ガイダンス
- 14:15~15:15 個別相談コーナー/キャンパスツアー

※参加人数によって内容を変更する場合があります。

参加ご希望の方は入学センターまで事前にお電話でお申込みください。
Tel: 0745-54-1603

2020年度一般入試・センター試験利用入試日程

試験区分	試験日	試験会場	出願期間(締切日消印有効)
一般入試	前期A日程	2020年1月22日(水) 本学/名古屋 京都/大阪/岡山	2019年12月20日(金)~2020年1月15日(水)
	前期B日程	2020年1月23日(木) 本学/京都/大阪	
	前期C日程	2020年1月25日(土) 本学/京都/大阪	
	中期日程	2020年2月19日(水) 本学/大阪	2020年1月27日(月)~2月12日(水)
	後期日程	2020年3月10日(火) 本学/大阪	2020年2月17日(月)~3月5日(木)
センター試験利用入試	前期日程	—	2019年12月20日(金)~2020年1月15日(水)
	中期日程	— 本学独自試験なし	2020年1月27日(月)~2月12日(水)
	後期日程	—	2020年2月17日(月)~3月5日(木)